

補正書の請求の範囲

J P O 3 / 1 4 2 8 3

補正書の請求の範囲〔2004年4月5日（05.04.04）国際事務局受理：出願当初の請求の範囲5は補正された；他の請求の範囲は変更なし。（2頁）〕

1. 金属帯状のバンド部材の両端部を重ね合わせ、リング状に仮止めされた内側バンド部と外側バンド部とに外方に隆起して形成された内側及び外側引寄せ爪どうしを工具で引き寄せることにより前記バンド部材を縮径可能な締付けバンドにおいて、

内側バンド部の外側バンド部と重なり合う部位に、外方に起立して形成された起立片、ストッパー受け入れ孔及び固定爪が端部側よりこの順に形成され、

外側バンド部の内側バンド部と重なり合う部位に、固定孔、先端を内側バンド部に向けて傾斜させて形成されたタブ状ストッパー及び前記起立片の移動をガイドする長孔が端部側よりこの順に形成され、

前記内側バンド部の起立片を外側バンド部の長孔に進入させると共に外側バンド部のタブ状ストッパーを起立片の元端側の切欠孔内に進入させて前記バンド部材がリング状に仮止めされ、前記内側及び外側引寄せ爪どうしを引き寄せることにより、前記外側バンド部の固定孔を内側バンド部の固定爪に係止させると共に前記タブ状ストッパーをストッパー受け入れ孔に係止させて、前記バンド部材が縮径状態で固定されることを特徴とする締付けバンド。

2. 前記タブ状ストッパーは、長孔の外側バンド端側の辺縁部に長手方向に切り込みが形成されて先端側を内側バンド部へ向けて傾斜させて形成されていることを特徴とする請求項1記載の締付けバンド

3. 前記内側引寄せ爪は固定爪より内側バンド端から離間する位置に外方に隆起して形成され、前記外側引寄せ爪は、固定孔とタブ状ストッパーとの間に外方に隆起して形成されていることを特徴とする請求項1記載の締付けバンド。

4. 前記内側及び外側引寄せ爪は、外方にアーチ状に隆起させた頂部端面部に互いに略平行に形成されたクランプ用端面部が形成されていることを特徴とする請求項1記載の締付けバンド。

5. (補正後) 車両用の等速ジョイントを覆う樹脂製ブーツに装着され、金属帯状のバンド部材の両端部を重ね合わせてリング状に仮止めされた当該バンド部材の内側バンド部と外側バンド部とを互いに引き寄せることにより前記バンド部材を

縮径させて締め付ける締付けバンドにおいて、

リング状に仮止めされたバンド部材を縮径した際に、被締付物に密着して変形し内外バンド端どうしが相対的に拡径方向に戻って係止するための復元力を付与する公差補正部材がバンド部材の一部に装着されていることを特徴とする締付けバンド。

6. 前記公差補正部材を装着するための取付凹部がバンド部材に形成されていることを特徴とする請求項5記載の締付けバンド。

7. 前記公差補正部材は被締付物である樹脂材と硬度が同等若しくは柔らかい耐候性樹脂材であることを特徴とする請求項5記載の締付けバンド。